# 9 GP のログデータを Excel にまとめたい !

9.1	GP のログデータを Excel に書き込んでみよう!	9-2
9.2	設定ガイド	9-26
9.3	制限事項	9-32

# 9.1 GP のログデータを Excel に書き込んでみよう!

## 【動作例】

GPの SRAM に保存されているアラームログデータを、毎日 15:00 に Excel ファイルへ書き込む

			B HRHL +	С	D	E
	1	異常ロク	報告書			
	2					
	3	発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻
	4	2007/12/20	10:30:00	ラインAライン詰まり		10:35:00
パソコン	5	2007/12/20	11:00:00	ラインB速度異常	11:32:00	11:32:30
局名:PC1) // 💦 🦷	6	2007/12/20	11:30:00	ラインA電力異常	11:33:00	11:35:30
	1 7	2007/12/20	12:00:00	ラインBライン詰まり	12:03:00	12:05:30
	8	2007/12/20	12:30:00	ラインC電力異常	11:32:00	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
		Æ	15:00			
	S	RAM				

この節では、例として、上記の動作(アクション)を行うための設定を順番に説明します。

MEMO ・ アラームの詳細については、『GP-Pro EX リファレンスマニュアル』をご覧ください。

【設定手順】

1	帳票テンプレートの作成	GP ログデータを書き込むためのテンプレート を作成します。
2	『Pro-Studio EX』の起動	『Pro-Studio EX』を起動します。
	+	
3	参加局の登録	パソコンと GP を参加局として登録します。
	+	
4	Excel テンプレートと出力ファイルの指 定	以下の項目を設定します。 • テンプレートファイルの指定 • 出力ファイルの指定
5	機能(アクション)の内容設定	以下の項目を設定します。 • ログデータの種類 • データの指定方法
6	アクション動作局 / 処理完了通知の設定	アクションの動作局およびアクションが実行さ れたことの通知の有無を設定します。
7	設定内容の確認	設定内容一覧画面で、設定した内容を確認しま す。
8	ネットワークプロジェクトファイルの保 存	設定した内容をネットワークプロジェクトファ イルとして保存し、リロードします。
9	ネットワークプロジェクトファイルの転 送	保存したネットワークプロジェクトファイルを GP に転送します。
10	アクションの実行	設定した起動条件が有効になると、GP のログ データが Excel の指定した場所に書き込まれる ことを確認します。

# 9.1.1 テンプレートの作成

GP ログデータを書き込むためのテンプレートを作成します。

**1** 『Microsoft Excel』を起動し、Sheet1 に下記のシートを作成します。 アクションを実行すると、ログデータが書き込まれます。

	A	В	С	D	E	
1	異常ログ	報告書				
2						
3	発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
4.4						

**2** ファイル名「template.xlt」として、パソコンのデスクトップに保存します。

## 9.1.2 『Pro-Studio EX』の起動

『Pro-Studio EX』を起動します。

起動方法の詳細については、「第3章 かる~く Pro-Server EX を体験してみませんか?」をご覧ください。

## 9.1.3 参加局の登録

ネットワークに接続しているパソコンと GP を、参加局として登録します。 参加局の詳細については、「第 31 章 参加局登録について」をご覧ください。



局名	: PC1		
IPアドレス	: 192. 168. 0. 1		



局名	: AGP1
IPアドレス	: 192. 168. 0. 100
接続機器情報	

設定例

参加局	設定項目	設定内容
1811-11.	局名	PC1
	IPアドレス	192.168.0.1
	種類	GP3000 シリーズ
GP	局名	AGP1
	IPアドレス	192.168.0.100

# 9.1.4 Excel テンプレートと出力ブックの指定

9.1.1 で作成した帳票テンプレートと出力ブックの指定を行います。 詳細については、「9.2 設定ガイド」をご覧ください。

## 設定例

設定	定項目	設定内容
テンプレートの指定	テンプレートファイル	C: ¥Documents and Settings ¥Administrator ¥デスク トップ¥templete.xls
	フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrator¥デスクトップ
	ファイル名	GP ログデータ .xls
出力ファイル	出力ファイルを表示し た状態から開始する	チェックあり
	アクション実行時、出 カファイルの保存を実 行しない	チェックなし

1 状態バーの [機能] アイコンをクリックします。

🂱 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プログラ	ミング補助(2) 設定(3) <u>ヘルズ(1)</u>
🗾 スタート ン 🔪 参加局	≽ シンボル 🔉 ≷ 歳 🗱 💫 📄 保存
┌─サンブルウィザード ────	
新規にネットワークを構築します。 サンプルを選択してください。	
■ 帳票作成	2Wayネットワークとは
😵 પ્રગ્રહ	GPおよびGPIに接続されている多くのFA機器(接線 要を作ったり、Accessなどデータベースの情報を接線
😰 データロギング	ハウユノとをつなくネットワークです。
Mail送信	Pro-Studio EXとほ

2 画面左のツリー表示から、[アクション]を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

🏘 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx	
ファイル(E) 編集(E) ツール(I) プログ	ラミング補助(P) 設定(S
💋 スタート ン 🔪 参加局	ン ┝ シンボル
編集 削除	アクション
アクション     ビ初条件     デーク検え送     デバイスキャッシュ	『Pro-S』 り、Access 理をおこな: 『Pro-S 処理のこと

**3** [アクションの種類] のリストボタンをクリックし、「EXCEL 帳票」を選択します。 続いて、[アクション名] に設定するアクション名「GP ログデータ」を入力します。

**MEMO** • [アクション名] には、任意のアクション名を設定できます。

アクション名/パラメータの設定	×
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設う	定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票	<u> </u>
EXCEL帳票 CSVファイルからう アクション名 GP JPEGデータの	ータを書き込む プパイスヘザータを書き込む Dアップロード
GP ログデータアッ Mailでデータ送行 データベースへのフ データベースからの	プロード ▶ プロード メガロード
	次へ キャンセル

4 [ここをクリックしてアクションのパラメータを設定してください。] ボタンをクリックします。



- 5 Excel テンプレートと出力ファイルに関する設定を行います。
  - 1) [テンプレートファイル] の [参照] ボタンをクリックし、作成したテンプレートファイル 「templete.xlt」を設定します。

Excel で帳票を作成
Version 1.22
「テンプレートの指定
帳票の元となる、Excelのテンプレートファイル名を指定してください。 ウィザードを使用した場合は、テーマテンプレートファイルがこの名前でコピーされます。 テンプレートを新規作成する場合は、そのファイルの名前を指定してください。
テンプレートファイル C <sup>¥Documents</sup> and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥1 参照
テンプレートの編集
出力ファイル テンプレートファイルには設定情報が保存されます。実際の出力結果は下記のファイルに 表示されます。
フォルダ名 C <sup>*</sup> Program Files <sup>*</sup> Pro-face <sup>*</sup> Pro-Server EX <sup>*</sup> NpxDatabase 参照
ファイル名 Report_%Y%M%D×ls デフォルトに戻す
▶ 出力ファイルを表示した状態から開始する
□ アクション実行時、出力ファイルの保存を実行しない。 □ (Excelの上書き保存、マクロによる保存を使用してください。)
ОК <b>+</b> +уъл

2) [フォルダ名] の [参照] ボタンをクリックし、出力ファイルを保存するフォルダ「デスクトップ」を設定します。

ー出力ファイル テンブレートファイル 表示されます。 フォルダ名	メコは設定情報が保存されます。実際の出力総 「C*Documents and Settings¥Administrat	果は下記のファイルに or¥デスクトップ 参照
ファイル名	Report_%Y%M%D.xls	デフォルトに戻す
☑ 出力ファイルをま 「 アクション実行時 (Excelの上書き)	長示した状態から開始する 、出力ファイルの保存を実行しない。 保存、マクロによる保存を使用してください。)	
		ОК <b>+</b> +ури

3) [ファイル名] に、設定する出力ファイルのファイル名「GP ログデータ .xls」を設定します。

-出力ファイル テンプレートファイル 表示されます。	小コは設定情報が保存されます。実際の出力結長	料は下記のファイ	пис
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrator	¥デスクトップ	参照
ファイル名	GPログデータxls	デフォル	トに戻す
▶ 出力ファイルを表	表示した状態から開始する		
□ アクション実行時 (Excelの上書き)	、出力ファイルの保存を実行しない。 保存、マクロによる保存を使用してください。)		
		ОК	キャンセル

MEMO	<ul> <li>デファ</li> </ul>	トルトの「%Y%M%	D」には、	「年/月/日」	が設定されます。	詳細については、
	「37.1	名前の制限事項」	を参照し	てください。		

4) [出力ファイルを表示した状態から開始する] をチェックします。

- 出力ファイル テンプレートファイルに 表示されます。	は設定情報が保存されます。実際の出力編	課は下記のファー	กมะ
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrate	or¥デスクトップ	参照
ファイル名	GPログデータ.xls	デフォル	小に戻す
日本 ローク ローク ローク ローク レーク レーク レーク レーク レーク レーク レーク レ	もした状態から開始する <del>出力ファイルの保存を実</del> 行しない。 存、マクロによる保存を使用してください。)		
		ок	キャンセル

MEMO • [出力ファイルを表示した状態から開始する] は、出力ファイルを表示した状態でデー タの読み出し/書き込みを開始しますので、すぐにデータを確認したい場合などに有効 です。

# 9.1.5 Excel テンプレートの内容設定

ログデータを Excel に書き込むための、Excel テンプレートの内容を設定します。 ここでは、テンプレートのデータ書き込みエリア(GP 内ログデータエリア)の設定を行います。 詳細については、「9.2 設定ガイド」をご覧ください。

			対象セル範囲 /		
	A	В	c	D	E
1	異常ログ	報告書			
2					
3	発報日付	発報時刻	/ メッセージ	確認時刻	復旧時刻
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

設定例

設定項目	設定内容
対象セル範囲	$A4 \sim E13$
参加局	AGP1
データの種類	ブロック1データ
アラームの種類	アラームヒストリ
ファイル番号の指定方法	現在データ(SRAM 内データ)
セルがいっぱいになった時の動作	クリア後上書き
起動条件	指定時刻(15:00)

1 [テンプレートの編集] ボタンをクリックします。



- 2 データ書き込みエリアの設定を行います。
  - 1) Excel の [GP 内ログデータ エリア] アイコンをクリックします。

38 M	icrosoft Excel	- temp	ate						
:2	ファイル( <u>E</u> ) 新	扁集(E)	表示⊙	挿入Φ	書式(0)	ツール①	データ( <u>D</u> )	<del>ウィンド</del> ウ₩	へルラ
1		61	. 6	19 - 8	] Σ -	21   🛄 🔞	🚆 MS	: Pゴシック	-
: 🚚	69 😻 😥	🍇 🖉	Ø 🛱	B 🕈 🖻	1		_		
	К22 75	<b>-</b>	f <sub>x</sub>						
	A		в	C	)	D	E	F	
1	異常口	グ報	告書						
2									
3	発報日付	1 発韓	蹰時刻	メッセ	zージ	確認時刻	川復旧時	刻	
4									
5									
6									

**MEMO** • メニューの [Excel アクション] から、「GP 内ログデータエリア」を選択しても、同様の画面が表示されます。

		_ [
ヘルプ(田)	Excelアクション( <u>A</u> )	_ 6
% ⊈≢ 1 1 <b>00 €</b>	編 デバイス ワンショット エリア(M) 伊 デバイス ロギング エリア(L) ● レシル・エリア(B) ● GP内ログデータ エリア(L)	
刻	<ul> <li>         接供 <u>TUP(S)</u> <ul> <li>             実行順序一覧(E)             </li> <li>             建勧条件をボタン化(B)             </li> <li>             アクションTUP一覧(D)</li></ul></li></ul>	
	☆ エリアを表示する(Q) バージョン情報( <u>A</u> )	

2) [対象セル範囲]のセル範囲指定ボタンをクリックします。

💕 GP内ログデータ	_ 🗆 X
動作設定起動条件設定	
対象セル範囲 \$F\$19 (起動元局) マ ロペンパデータ GP3000シリーズ / WinGP / LT3000	
● GPシリーズ	
□ CSVファイルの項目を表示する	
─ファイル番号の指定方法	
現在データ(SRAM内データ)	

3) マウスでデータをロギングするエリア (セル A4 ~ E13) をドラッグして指定したあと、[OK] ボ タンをクリックします。

💌 M	icrosoft Excel	- templa	ite									_ 0	$\times$
:2)	ファイル( <u>E</u> ) 編	潗(E)	表示(⊻)	挿入仰	書式(0)	ツール(工) テ	"一夕( <u>D</u> ) ウイン	<mark>∕ドウ</mark> Ϣ ∧J	ルプ( <u>H</u> ) Exce	・Iアクション( <u>A</u> )		_ 8	×
ED	688	a I 📖		🔊 - I 🧕	$\Sigma - \frac{A}{2}$			シック	- 11 - I	J <u>U</u>		<u> </u>	
: 49	c# 🍪 🕜 🌡	10 J	of 1 🙀	💕 💣	ii I								-
	A4	+	fx										
	A		B	С		D	E	F	G	Н	Ι	J	F
1	異常ロイ	グ報告	も書										
2													
3	発報日付	発報	時刻	メッセ	ージ	確認時刻	復旧時刻						
4							*********						
5					4-1122 112								
6	[				範囲を	指定してください	10						
7					-								
8													-
10		_			\$A\$4:	\$E\$13							
11		_											-
12							ОК	<u>++&gt;t</u>	211				
13								<u> </u>					
14													
15													
16	▶ N \Sheet1	Sheet	12 /Shee	t3 /				•				Þ	É
参照													1

4) [参加局] のリストボタンをクリックし、データ転送元となる局名「AGP1」を選択します。

💕 GP内ログデータ						_ 🗆 🗙
動作設定起動	条件設定					
対象セル範囲	\$A\$4:\$E\$13	3	参加局	(起動元局)		
ロギングデータ		•	🔿 G P3000	AGP1 2(起動元局)	<u>k</u>	
			● GPシリー	-7		

5) データの種類で「アラームブロック1データ」、アラームの種類で「アラームヒストリ」を選択します。

💕 GP内ログデータ	_ 🗆 ×
動作設定 起動条件設定	
対象セル範囲 🖡 🗚 🕹 🕹 🛃 参加局 🛛 🔍 💌	
アラームブロック1データ 💽 G P3000シリーズ / WinGP / LT3000	
C GPシリーズ	
アラームの種類 〇 アラームアクティブ 〇 アラームヒストリ 〇 アラームログ	
「 CSVファイルの項目を表示する	
ファイル番号の指定方法	
現在データ(SRAM内データ)	

6) [ファイル番号の指定方法] で、「現在データ(SRAM 内データ)」を選択します。

-771h	番号の指定方法
	現在データ(SRAM内データ)
	現在データ(SRAM内データ) CFカード内の最も新しいファイル。
	CFカード内の特定の曲号のファイルへ曲号はナイバイスによる前接指定/ CFカード内の固定番号のファイル

7) [セルがいっぱいになった時の動作] で、「クリア後上書き」を選択します。

セルがいっぱいになった時の動作 「シリア後上書き」 〇 スクロール 〇 改シート 〇 ループ 「シート作成時指定されたセル範囲をジアしてからはしめる	
OKキャンセル	

- 3 起動条件の設定を行います。
  - 1) [起動条件設定] タブをクリックします。

💕 GP内ログデータ	
動作設定起動条件設定	
対象セル範囲 🕅 👬 👬 🛃 参加局 🛛 🔽 💌	
アラームブロック1データ G P3000シリーズ / WinGP / LT3000	
Const	

「起動条件設定」画面が表示されます。

GP内ログラータ     「「」×     動作設定 起動条件設定     アクション エリア番号     ひ     指定された起動方法(条件かボタン)が成立した時に、このエリアの動作を実行します。起動方法を     設定して(ださい。
新しい起動条件     新しい起動ボタン       GPDグデータアップロード     以下の条件成立時にセルをクリアする       編集     削除       起動条件

2) [新しい起動条件] ボタンをクリックします。

新しい起動条件 新しい起動条件 なPログデータアックロード	しい下の条件成立時にセルをクリアする
編集削除	編集 削除
	起動条件           米
複数指定した場合、どれかつでも	ら成立すると実行します。

MEMO ・ Excel 上にボタンを配置し、これを起動条件にしてアクションを実行させることができます。詳細については、「5.6 帳票に起動ボタンを配置したい!」をご覧ください。

	A	В	С	D	E	F	G	Н
1	異常ログ	報告書						
2								
3	発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻			
4								
5								
6						Excel	orm Actio	n
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

3) [新しい起動条件] ボタンをクリックします。

<mark>起動条件設定</mark> アケションの起動条件を指定してください。	X
EbhAH	ก
新しい起動条件	J
▲ 参加局」	
	וו
	]

4) [起動条件名] に、起動条件名「GP ログデータを読み出す」を入力し、[局名] に、データ転送元 となる局名「AGP1」を選択します。



5) [条件 1] タブの [指定時刻] ボタンをクリックし、[指定時刻] に「15」「0」を設定して [OK] ボタンをクリックします。

条件1   起動条件を打	皆定してください。				
5	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中
G	指定時刻	<b>.</b>	デバイスOFF中		条件式成立時
0	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
指定	8時夜 <mark>  15</mark>	0 <del>∷</del> ☆			
			詳細設定		OK キャンセル

6) [閉じる] ボタンをクリックします。

記動条件設定 ⊠ アクションの記動条件を指定してください。
起動条件
新しい起動条件
GPログデータを読み出す
参加局[AGP1
15時0分になったとき
開じる よう

7) [ロギング]の [起動条件] の空白行をクリックし、起動条件「GP ログデータを読み出す」を選 択します。



8) [OK] ボタンをクリックします。

以上で、Excel テンプレートの内容設定が終了しました。

**4** Excel を終了します。

マァイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(F) データ(D) ウイン         ● 新規作成(V)         ● 新規作成(V)         ● 開いる(Q)         □ 上書き(保存(G)         □ 作業状態の保存(W)         3         □ ファイル検索(H)	Inf
●         新規作成(\)         Ctr I+N         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ♥         ●         ●         ♥         ●         ●         ♥         ●	Inf
順(①)     Ctrl+O       閉じる(○)     nOcx.FormRange       日     上書き保存(⑤)       2     作業状態の保存(◎)       3     ファイル検索(Ψ)	Inf
閉じる(2)     mOcx.FormRange       上書き保存(5)     Ctrl+S       1     Web ページとして保存(2)       2     作業状態の保存(W)       3     ファイル検索(U)	Inf
上書き保存(S)     Ctrl+S     E       1 	
1     2     Web ページとして保存(3)       2     作業状態の保存(4)       3     ファイル検索(4)	
2     作業状態の保存 W0       3     3       ファイル検索(U)     寺刻 復旧時刻	
3 型 ファイル検索(出)  寿刻 復日時刻	
ブラウザでブレビュー(B)	
5 ページ設定(U)	
7 印刷範囲①	
9 🗿 印刷(P) Ctrl+P	
10 11 送信@) ▶	
12 JOKF40	
13 1 ¥Documents and Settings¥Administrat¥template	
14 15 2 ¥Documents and Settings¥¥アルバム委員(名簿)	
16 3 ¥Documents and Settin¥アルバム委員(年間行事)	
17 4 ¥Documents and Settings¥Owner¥デスクトップ¥111	
18 終了◎ ▶	

下記の確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

EXCEL	票アクション - 終了の確認	<
?	テンプレートへの変更を保存して編集作業を終了しますか?	,
	【【1111】 いいえる】 キャンセル	

5「Excel で帳票を作成」画面で、[OK] ボタンをクリックします。

- 出力ファイルーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー						
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrato	r¥デスクトップ 参照				
ファイル名	GPログデータxls	デフォルトに戻す				
☑ 出力ファイルを □ アクション実行 (Excelの上書)	表示した状態から開始する 時、出力ファイルの保存を実行しない。 き保存、マクロによる保存を使用してください。)					
		OK ++>tell				

## 9.1.6 アクション動作局/処理完了通知の設定

アクションが動作する局名、およびアクションが実行されたことの通知の有無を設定します。



受信通知 :なし

1「アクション名 / パラメータの設定」画面で、「次へ」ボタンをクリックします。

アクション名/パラメータの設定 🛛 🛛 🛛
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票
🥅 旧バージョンのPro-Serverのアクションを表示する
アクション名 GPログデータ
ここをクリックしてアクションの パラメータを設定してください。
(次へ) キャンセル

2 [動作局] のリストボタンをクリックし、アクションが動作する局名「PC1」を選択します。

アクション動作局/処理完了通知設定	×
アクションの種類 EXCEL帳票	
アクション名GPログデータ	
実際にアクションが動作する動作局(Pro-Server EX)を指定してください 「動作局	•
PC1 PO1 受信通知あり アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。 アクション実行後、Onします。	

3 [受信通知あり] がチェックされている場合は、チェックを外します。

動作局
PC1
「「受信通知あり」 「アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。 アクション実行後、Onします。
機器名
#INTERNAL
通知先デバイス
データタイプ ビット

MEMO・「受信通知」は設定しないでください。

4 [完了] ボタンをクリックします。

「アクション動作局 / 処理完了通知設定」画面が閉じ、画面左に、設定したアクション名が表示されます。

	機器名
	#INTERNAL 🔽
	通知先デバイス
	<b>∀</b>
	データタイプ <mark>ビット</mark>
戻る	る <u>完了</u> キャンセル

以上で、アクション動作局および処理完了通知の設定が終了しました。

## 9.1.7 設定内容の確認

設定内容の一覧画面で、設定した内容を確認します。

- MEMO・「Excel 帳票」アクションの場合、「アクション別の起動条件 / 処理一覧」から起動条件の 追加、編集、削除を行うことができません。変更を行う場合は、[パラメータ設定] ボ タンをクリックし、[テンプレートの編集] で Excel 上で変更を行ってください。
- 1 画面左のツリー表示から、アクション名「GP ログデータ」をクリックします。

饕 Pro-Studio EX	?.npx
ファイル(E) 編集(	E) ツール(D) プログラ
1 ZA-F	>> 🔪 参加局
追加	インポート
編集	削除
□	ブデータ ブデータを読み出す <u>*</u> ャッシュ

設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

ラミング補助(P) 設定(S) ヘルプ(H)	
- シンボル - ジンボル - ジン 🏄 - 様能 - ジン 📑 (保存) - 人 🏹	転送 転送
┌アクション別の起動条件/処理一覧	- アクション
追加編集解	アクションの削除
データ元局 AGP1	GPログデータ 💌
起動条件 15時0分になったとき データ	名前の変更
QPD GPD	EXCEL帳票
	パラメータ設定
	」 ★動作局
	PC1

2 画面左のツリー表示から、起動条件名「GP ログデータを読み出す」をクリックします。

<b>物 Pro-Studio EX</b>	?.npx
ファイル(E) 編集(E	9 ツール <b>(1) プロ</b> グラ
م ۲۵۰۰ 🔯	>  >  > 参加局
追加	インポート
編集	肖耶余
□···▼ アクション 「…」「ん GPログ □···▼ 記動条件	<b>ブデータ</b>
GPD/	データを読み出す
・ データ単ムシ	2 10

設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

ラミング補助(P) 設定(S) ヘルプ(H)					
🍑 🌔 シンボル 🍑 ≷ 機能	» 🔡	保存 义	Ň	🄰 転送	大況監視
起動条件		起重	操	件別シー	アンス図
		縮小表示	;	$\overline{\mathcal{P}}$	クション/データ転送
GPログデージ▼ 編集	機能名	元		先	受信/処理完了通知
参加局[AGP1	GPログデ	AGP1.#L.	->	PC1.GP	
15時0分になったとき					

以上で、設定内容の確認が終了しました。

## 9.1.8 ネットワークプロジェクトファイルの保存

設定した内容を、ネットワークプロジェクトファイルとして保存し、『Pro-Server EX』にリロードします。

ネットワークプロジェクトファイルの保存については、「第25章 保存について」をご覧ください。

重要 ・『Pro-Server EX』は、ネットワークプロジェクトファイルを読み込み、そこに設定され た内容によりアクションを実行します。したがって、設定した内容は必ずネットワーク プロジェクトファイルとして保存する必要があります。

ネットワークプロジェクトファイルの『Pro-Server EX』へのリロードは必ず行ってください。リロードを行わないとアクションが動作しません。

#### 2 設定例

- ネットワークプロジェクトファイルのパス : デスクトップ¥monitor.npx
- タイトル : EXCEL 帳票アクション

## 9.1.9 テスト読み出し

作成したネットワークプロジェクトファイルを参加局に転送する前に、設定が正しく行われているか どうかを確認することができます。

アクション実行時には、出力ファイルに読み出されますが、テスト読み出しはテンプレートファイル に反映されます。

MEMO・テスト読み出しは、必ずしも行って頂く必要はありません。 テスト読み出しを行わない場合は、「9.1.10 ネットワークプロジェクトファイルの転送」へお進みください。

重要 ・ テスト読み出しを行うには、作成したネットワークプロジェクトファイルがロードされ た『Pro-Server EX』が起動している必要があります。

- 1 [機能] ボタンをクリックします。
- 2 画面左のツリー表示から Excel 帳票アクションをクリックし、[編集] ボタンをクリックします。
- **3**「アクション名 / パラメータの設定」画面で、[ここをクリックしてアクションのパラメータを設定してください。] ボタンをクリックします。
- 4「Excel で帳票を作成」画面で [テンプレートの編集] ボタンをクリックします。

5 アクションエリアを選択した状態で [テスト読込み] アイコンをクリックします。

_									
	🔀 Mi	crosoft Exc	el - tem	olate					
	:	ファイル(E)	編集(E)	表示₩	挿入仰	書式(0)	ツール①	データ( <u>D</u> ) ウ	<mark>ィンドウ(</mark>
		🖻 🔒 🔒	181	ä. i 🗈 -	12-1	🐊 Σ - 🖞	1 🛄 📀		
		t 🖗 🖗	8 <u>8</u>   E	Ø 🕯	i Iri	11			
	オ	ブジェクト・	1 👻	f <sub>x</sub>	EEKBE	D(" Pro Ex	celFormOc	x.FormRar	ngeInfo
		A		В	(	)	D	E	
	1	異常口	グ報	告書					
I	2								
l	3	発報日(	け 発	報時刻	איל Xvt	2ージ	確認時刻	復 日時刻	J I
I	4				°				ľ
	5								
	6								
	7								
11	0								

テンプレート上に、設定した内容で読み出しが行われます。

MEMO ・ テスト読み出しの制限事項については、「9.3 制限事項」をご覧ください。

## 9.1.10 ネットワークプロジェクトファイルの転送

保存したネットワークプロジェクトファイルを、『Pro-Server EX』にロードし、参加局に転送します。 ネットワークプロジェクトファイルの転送については、「第 26 章 転送について」をご覧ください。



# 9.1.11 アクションの実行

起動条件が有効になった時点で、アクションが動作して Excel ブック(ファイル名:「GP 異常ログ .xls」)が開き、GP のログデータが指定した場所に書き込まれることを確認します。

	A	В	С	D	Е	F
1	異常ログ報告	書				
2						
3	発報日付	発報時刻	メッセージ	確認時刻	復旧時刻	
4	2007/12/20	10:30:00	ラインAライン詰まり		10:35:00	
5	2007/12/20	11:00:00	ラインB速度異常	11:32:00	11:32:30	
6	2007/12/20	11:30:00	ラインA電力異常	11:33:00	11:35:30	
7	2007/12/20	12:00:00	ラインBライン詰まり	12:03:00	12:05:30	
8	2007/12/20	12:30:00	ラインC電力異常	11:32:00		
9						

**MEMO**• エラーが発生した場合、ログビューアでログを確認することができます。詳細について は、「28.5 システム稼動ログが見たい!」をご覧ください。

• アクションを実行時の通信速度の向上を図りたい場合は、「第 29 章 通信を速くするひ と工夫!」をご覧ください。

以上で、このアクションの説明は終了です。

# 9.2 設定ガイド

この節では、アクションのパラメータのくわしい設定のしかたについて説明します。

9.2.1 「Excel で帳票を作成」画面

<sup>②</sup>「■「Excel で帳票を作成」画面」

# 9.2.2 「GP 内ログデータ」画面

■「動作設定」タブ

💕 GP内ログデータ
動作設定起動条件設定
対象セル範囲 \$A\$4\$E\$13 📑 参加局 AGP1 ▼ …
マニューズ / GP3000シリーズ / GP3000シリーズ / WinGP /
O gpyu-X
アラームの種類 ◎ アラームアクティブ ○ アラームヒストリ ○ アラームログ
_ CSVファイルの項目を表示する
- ノア1ル番号の指定方法
現在データ(SRAM内データ)
セルがいっぱいになった時の動作 💿 クリア後上書き 🖸 スクロール 💿 改シート 🖸 ループ
□ シート作成時指定されたセル範囲をクリアしてからはじめる
<u> の K キャンセル </u>

設定項目	設定内容
	データを書き込むセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。
対象セル範囲	<ul> <li>・セル範囲の選択方法は、「■アクションエリアの設定」を参照してください。</li> <li>・指定したセル範囲(アクションエリア)を確認するための便利な機能があります。「5.1.2 設定ガイド」の「■アクションエリア一覧について」をご覧ください。</li> </ul>

設定項目	設定内容
参加局	ログデータの読み出しを行う参加局を選択します。 MEMO • [] ボタンをクリックすると、参加局の追加または検索が行えます。 • 「(起動元局)」を選択すると、その起動要因となった参加局が対象となります。
	<ul> <li>帳票に書き込むログデータの種類を選択します。</li> <li>選択できるログデータは、GPの種別により異なります。</li> <li>GP3000/4000 シリーズ、WinGP および LT3000 で「アラームブロックデータ」</li> <li>を選択した場合は、アラームの種類を「アラームアクティブ」、「アラームヒストリ」、「アラームログ」のいずれかから選択します。</li> </ul>
データの種類	<ul> <li>アラームの種類           ・アラームアクティブ           ・アラームヒストリ           ・アラームログ     </li> <li>GP3000/4000 シリーズ、WinGP および LT3000 で 『GP-PRO/PB III for Windows』 からコンバートしたプロジェクトファイルの折れ線グラフ、サンプリング、ロギングデータをアップロードする場合、該当するデータの「互換用」を指定してください。</li> <li>「GP 画面データ (JPEG)」を選択した場合は、エリア内に読み込む画面数を設定します。</li> </ul>
	GP画面データ(Jpeg) ▼ エリア内に読み込む画面数 P Ξ MEMO • CF/SD カードスロットがない機種では、帳票に「GP 画面データ (JPEG)」のロ グデータを書き込むことはできません。
CSV ファイルの項目を 表示する	タイトル部分も Excel に表示させる場合にチェックします。 MEMO ・「CSV 表示器データ」と「GP 画面データ (JPEG)」を選択した場合は表示され ません。

設定項目	設定内容
	<ul> <li>読み出すログデータの格納元を選択します。</li> <li>現在データ(SRAM内データ)</li> <li>GPのSRAMに格納されている現在のデータを読み出します。</li> <li>CFカード内の最も新しいファイル</li> <li>GPのCFカードに格納されているデータから、最も新しいデータを読み出します。</li> <li>CFカード内の特定の番号のファイル(番号はデバイスによる間接指定)</li> <li>GPのCFカードに格納されているデータから、特定の番号のファイルを読み出します。</li> <li>この場合、番号はデバイスによる間接指定となります。</li> <li>参加局、機器名、デバイスアドレスを指定します。</li> </ul>
ファイル番号の指定方 法	○Fカード内の特定の番号のファイル(番号はデバイスによる間接指定) 参加局 (起動元局)  (記載元局)  (記載2000)
	<ul> <li>・ CF カード内の固定番号のファイル</li> <li>GP の CF カードに格納されているデータから、指定した番号のファイルを読み出します。</li> <li>この場合、CF カードのファイル番号を指定します。</li> </ul>
	CFカード内の固定番号のファイル ファイル番号 0 <u></u>
	GP3000/4000 シリーズ、WinGP および LT3000 で「サンプリングデータ」を選択 した場合、サンプリンググループ番号の指定方法を設定します。 ・サンプリンググループ番号をデバイスによる間接指定する サンプリンググループ番号の指定を、デバイスによる間接指定により行います。 この場合、参加局、機器名、デバイスアドレス/シンボルを指定します。
サンプリンググループ 番号の指定方法	サンプリンググループ番号をデバイスによる間接指定する。
	<ul> <li>固定のサンプリンググループ番号</li> <li>サンプリンググループ番号を固定して指定します。</li> <li>この場合、グループ番号を指定します。</li> </ul>
	固定のサンブリンググループ番号指定 グループ番号 1 二



■「起動条件設定」タブ

動作設定起動条件設定
より複雑な処理をおこなう場合はメニューの[Excelアクション]-[実行順序一覧]で設定 してください。
OKキャンセル

設定項目	設定内容
アクション エリア番号	各アクションエリアに対する、テンプレートごとに割り付けられた番号が表示されます。
新しい起動条件	「起動条件設定」ダイアログが表示されます。 新しい起動条件を設定する場合にクリックします。
新しい起動ボタン	「起動ボタン作成」ダイアログが表示されます。 詳細については、「5.6.2 設定ガイド」をご覧ください。
	ログデータの読み出しを行う起動条件を選択します。 空白行の [起動条件] をクリックしたあと、リストボタンをクリックすると、登 録済みの起動条件が表示されます。
GP ログデータアップ ロード	<ul> <li>MEMO</li> <li>・ 起動条件を複数指定した場合、どれか一つでも成立するとアクションを実行します。</li> <li>・ [編集] ボタンをクリックすると、指定した起動条件の編集ができます。</li> <li>• [削除] ボタンをクリックすると、指定した起動条件を削除します。</li> </ul>

設定項目	設定内容
	設定した起動条件が成立すると、セルをクリアします。 空白行の[起動条件]をクリックしたあと、リストボタンをクリックすると、登 録済みの起動条件が表示されます。
以下の条件成立時にセ ルをクリアする	<ul> <li>MEMO</li> <li>・ 起動条件を複数指定した場合、どれか一つでも成立するとセルをクリアします。</li> <li>・ [編集] ボタンをクリックすると、指定した起動条件の編集ができます。</li> <li>• [削除] ボタンをクリックすると、指定した起動条件を削除します。</li> </ul>

# 9.3 制限事項

## ■ セルの結合について

結合されたセルについては、アクションエリアを設定しないでください。 例えば、以下のようなセルに対してアクションエリアを設定した場合、編集時や実行時の動作につい ては保証いたしません。

	А	В	С	D
1	D1 00	D1 01	D1 02	D1 03
2				
3				
4				
5				
6				
7				

## ■ 貼り付けたアクションエリアが重なる場合について

大きさの異なるアクションエリアを重ねて貼り付けた場合、読み出し/書き込み順序は、貼り付けた 順で行われます。

## ■ Excel のウィンドウについて

設定画面が Excel の後ろに隠れてしまった場合、画面およびタスクトレイのウィンドウが点滅し、 ユーザーに通知します。点滅は、設定画面が前面に出てくると自動的に停止します。

## ■ エラーが発生した場合におけるアクションエリアの動作について

「GP ログ」機能において実際に書き込み・読み込みを行った場合で、アクションエリアの範囲をはみ 出た場合は、以下の共通の動作を行います。

1) テスト読み込み・テスト書き込み時

エラー画面が表示されます。

2) アクションをランタイムで動作させる場合

『Pro-Server EX』のログビューアにアクションのエラーとして記録されます。

## ■ テスト読み出しで実行されない機能について

テスト読み出し時には、以下の機能は実行されません。

- ・「セルがいっぱいになった時の動作」
- ・「シート作成時指定されたセル範囲をクリアしてからはじめる」

## ■ 表示中の出力ブックを閉じてしまった場合

Excel 帳票アクションの出力ブックをついうっかり閉じてしまった場合、以下の手順で出力ブックを 起動させてください。

ドラッグ&ドロップなどで起動させると、読み取り専用になってしまい、起動ボタンなども動作しな くなってしまいます。

1. 出力ブックをダブルクリックしてください。

2. 以下のダイアログが表示されるので"いいえ"を選択して出力ブックを起動します。

Microsoft Excel					
<b>(</b>	Report_20060401.xls は既に開いています。2 重に開くと、これまでの変更内容は破棄されます。Report_20060401.xls を開きますか?				

## ■ 受信通知について

Excel 帳票アクションでは、アクションが完了したことを示す受信通知を設定することができません。

#### ■ 起動元局の設定について

Excel 帳票アクションの設定画面において、参加局に「起動元局」と設定した場合、参加局タイプや 接続機器が不明となります。

そのため、デバイスアドレスが赤字で表示されますが問題ありません。

#### ■ 出力ファイルの編集について

Excel 帳票アクションが実行している間は、出力ファイルを編集することができません。このため、 短い周期で起動条件が成立するような設定の場合、Excel 自体が非常に操作しにくくなります。 また、出力ファイルを編集中にアクションが実行されるとエラーメッセージが表示されます。

EXCEL	票アクション - エラー	×
8	SAAJ040セルが編集モード中は、アクションを実行できません。セル編集を終了してから、再度アクションを実行してください。	(c0b00528h)
	OK	

## ■ 1500 行を超えるアクションエリア設定時の制限について

アクションエリアが 1500 行を超えると、アクション実行の時間が長くなる場合があります。デバイ スワンショットまたはデバイスロギングで文字列置換を使用している場合は、さらに時間がかかりま す。

# ■ アクション エリアのコピーまたはカット アンド ペーストの制限について

アクションエリアを Ctrl+C & Ctrl+V や Ctrl+X & Ctrl+V でペーストした場合、複製後のアクションエ リアに対して[対象セル範囲]を指定してください。

ペースト直後のアクションエリアは、元のアクションエリアと同じ[対象セル範囲]を保持していま す。



## ■ Excel の自動保存機能について

Excel の自動保存機能は、Excel の制限のため動作しません。自動保存が必要な場合は、以下の手順で Excel 保存マクロを作成し、作成した保存マクロをアクションで実行します。

1 自動保存したいテンプレートを『Pro-Studio EX』で開きます。

Excel で帳票を作成		
- テップレートの指定		Version 1.22
	-/+"+1.	
「味菜の元となる」とXCBIのテンフレートファイル名を指定し ウィザードを使用した場合は、テーマテンプレートファイルな テンプレートを新規作成する場合は、そのファイルの名前を	、いてつい。 Nこの名前でコピーされ: 賃指定してください。	ます。
テンプレートファイル C*Documents and Settings¥Adm	inistrator¥デスクトップ¥	多照
テンプレートの	編集	
- 出力ファイルーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
テンプレートファイルには設定情報が保存されます。実際の 表示されます。	)出力結果は下記のファ	~1)UC
フォルダ名 C <sup>:</sup> ¥Program Files¥Pro-face¥Pro-5	Server EX¥NpxDatabas	e 参照
ファイル名 Report_%Y%M%D.xls	デフォ.	ルトに戻す
☑ 出力ファイルを表示した状態から開始する		
□ アクション実行時、出力ファイルの保存を実行しない。 □ (Excelの上書き保存、マクロによる保存を使用してくださ	きい。)	
	ок	キャンセル
		112 Civ

2 メニューの「ツール」から「マクロ」→「新しいマクロの記録」を選択します。

							-
- <u>'</u> "	ッール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Excelアクション(A)						
E 🔧	スペル チェック( <u>S</u> )	F7	<b>•</b> 0	8 🗊 🗐	🔄 + 🔕 + 🖊	<u>A</u>	
ī —	オートコレクト( <u>A</u> )		ΖI	in 🧟 100	8 - 🕗		
1 –	ブックの共有(H)		A.+			]	
_		)					
- 11	ブックの結合(₩)						
-	保護( <u>P</u> )	+		G	H	I	
-	オンライン グループ作	i <u></u> t (N) ►					
_	ゴール シーク( <u>G</u> )						
	シナリオ( <u>E</u> )						
	ワークシート分析(凹)	• •					
-	マクロ(M)	•	-	マクロ( <u>M</u> )		Alt+F8	
-	アドインΦ	(	•	新しいマクロの語	記録(R)		
-	ユーザー設定( <u>C</u> )	0		ヤキュリティ(S).	. W		
	オプション( <u>0</u> )		2	Visual Basic	Editor 🕑	Alt+F11	
			<b>%</b>	Microsoft Scr	ipt Editor( <u>E</u> )	Alt+Shift+F11	

**3** マクロ名「Save」を入力し [OK] ボタンをクリックします。 マクロの記録が始まります。

マクロの記録	? ×
マクロ名(M):	
Save	
ショートカット キー(近): マクロの保存先の:	
Ctrl+ 作業中のブック	•
.   .   1111  1111  1111  1111  1111  1111  1111	_
マクロ記録日:200*/*/** ユーザー名:*****	
1	
	キャンセル

4メニューの「ファイル」から「上書き保存」を選択します。 上書き保存がマクロに記録されます。



5メニューの「ツール」から「マクロ」→「記録終了」を選択します。 マクロの記録が終了します。



6 メニューの「Excel アクション」から「実行順序一覧」を選択します。



7 自動保存する起動条件を作成します。

8 作成した起動条件を選択し、「Excel 操作機能」を選択します。

実行順序一覧				<u>_</u> D×
起動条件成立時実行   起動ボタンク	リック時実行 別アプリケーションから実行			
	起動条件が成立するとアク	ションを実行しま	す。	
新しい起動条件 編集 挿入 クリア	実行するアクションエリアもしくはExcelの操作	キコマンドを実行する順	番に並べてください。	
起動条件 1	<u>-</u>	4	5	6
Trigger1	▼ Excel操作機能			
1				
			OK	キャンセル

9「マクロ実行」を選択し、マクロ名「Save」を入力します。

Excel操作機能設定						-	
○ 改シート	Οv	一卜印刷	シートキ	Z	sheet1		
○ 新規ブック							
○ ブック表示	○ ブ:	灼非表示					
〇 ブック印刷	⊖ Ex	cel終了					
<ul> <li>マクロ実行</li> </ul>	ļ	Save					]
○ エクスポート							
ファイル名		Report_%Y9	6M%D%n.c	SV		初期値/	、戻す
保存フォルダ							
保存形式	(	CSV(.c	sv)				
		アクショ エクスポ	ンレポート ートします	を除く者	最後のペ	ージのみを	Ē
	ć	) HTMLC	ntm)				
			ОК		*	ャンセル	

10 [OK] ボタンをクリックします。

- 11 テンプレート編集を終了します。
- 12 設定内容を保存 / リロードします。 作成した起動条件にしたがって、自動保存が実行されます。